



「香川大学の第2期中期目標・中期計画」について

国立大学法人は、平成22年度から第2期中期目標期間を迎えることとなりました。それにあわせて、香川大学は、文部科学大臣から第2期中期目標を提示され、これを達成するための中期計画を策定し、認可を受けました。

この中期目標は、香川大学が6年間で達成すべき教育研究、社会貢献・地域貢献等に関する目標であり、目標を達成するための具体的な取組である中期計画を実施することで、より一層の教育研究の質の向上、社会貢献・地域貢献を図ろうとするものです。

香川大学の第2期の中期目標は、「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「財務内容の改善に関する目標」、「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標」、「その他業務運営に関する重要目標」の46項目で、また、当該中期目標を達成するために、70項目の中期計画を立てました。

香川大学の第2期中期目標・中期計画のなかで、特色ある主な取組としましては、次のことがあげられます。

学士力を備えた人材を育成

学生の学習志向・進路志向に応じた学士課程教育プログラムを実施します。

地域を教育の素材に活用しながら幅広い教養と国際的通用性を有する人材を育成

新学部を設置し、当該学部を中心に、言語・文化・社会・心理等の教育を実施します。

教育機能の強化に向けた教育体制の再編

柔軟で機動的な教育研究を実施するため、教育組織と教員組織を分離します。

大学院課程の再編・強化

大学院修士・博士課程の在り方について全学的に検討し、大学院を再編します。

学生中心の大学づくりに向けた総合的な学生支援体制を整備

情報通信技術を利用した総合的な学生支援システムを活用し、専門スタッフを配置した教職員協働による学生支援・相談体制を整備します。

瀬戸内圏の諸問題に関する調査・研究を行い、地域の課題を解決する知の拠点の形成

瀬戸内圏の環境、医療、歴史等の研究を推進します。

地域との連携を強化し、地域社会ニーズに即した社会貢献・地域貢献事業を推進

地域住民の健康向上を目指し、医療ネットワークを駆使して糖尿病関連疾患を克服する活動を展開します。

地域の危機管理、安全・安心な社会づくりに貢献する事業の推進

地域セキュリティ科学の理論研究とその体系化を行うとともに、地域防災・減災教育研究の拠点を形成します。

環境に配慮した低炭素社会の実現を目指した環境配慮活動

省エネルギー、温室効果ガスの排出削減等の環境負荷の低減活動を積極的に行い、エネルギー使用量及び温室効果ガスを削減します。



➤ 問い合わせ先

香川大学 経営管理室 企画グループ 造田

TEL : 087-832-1237 FAX : 087-832-1035

E-mail : kchosa2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp